

## 三菱自動車、『アウトランダーPHEV』が2025年度のPHEVカテゴリ国内販売台数No.1を2年連続で獲得

三菱自動車工業株式会社（以下三菱自動車）は、プラグインハイブリッドEV（以下PHEV）『アウトランダーPHEV』の2025年度（2025年4月～2026年3月）における国内販売台数が7,794台となり、PHEVカテゴリで第1位<sup>\*1</sup>を獲得し、昨年度に続き2年連続で首位となったことを発表しました。

\*1：一般社団法人 日本自動車販売協会連合会調べ



アウトランダーPHEV

三菱自動車は1964年から電動車の研究開発に取り組み、2009年に世界初の量産電気自動車『アイ・ミーブ』を世に送り出し、2013年には世界初のSUVタイプのPHEVとして『アウトランダーPHEV』を発売。2020年には『エクリプス クロスPHEV』をラインアップに加えるなど、電動化を推進してきました。『アウトランダーPHEV』は、日本・北米・欧州・豪州といった主要地域で高い評価を獲得し、電動SUV市場を牽引する存在へと成長しています。国内では2025年3月に累計販売10万台を突破したほか、カナダではPHEVカテゴリにおいて3年連続で販売台数1位を達成するなど、複数の主要市場で高いシェアを獲得しています。

当社は、行動範囲が比較的限定される軽自動車やコンパクトカーにはBEV（バッテリーEV）、行動範囲が広いSUVやミドルクラス以上にはPHEVが最適といった考えのもと、電動車の展開を進めてきました。今後も、PHEVを中心とした電動化技術を軸に、BEVやHEV（ハイブリッド）を組み合わせた多様な電動車展開により、地域特性や使用環境に応じた現実的な電動化を推進していきます。

### ■『アウトランダーPHEV』概要

『アウトランダーPHEV』は、三菱自動車のフラッグシップモデルとして、「日常ではEV、遠出はハイブリッド」というコンセプトのもと、電動車ならではの力強く滑らかで静かな走りを実現するとともに、さまざまな天候や路面状況においても、安全・安心かつ快適なドライブを可能にする電動SUVです。2代目となる現行モデルは、2021年にフルモデルチェンジを実施し、三菱自動車が培ってきた電動化技術と四輪制御技術の粋を結集、「威風堂堂」をコンセプトに大きく進化しました。2024年10月の大幅改良では、駆動用バッテリーの刷新によ

る EV 航続距離の伸長や加速性能の向上に加え、内外装デザインの質感向上や先進装備の拡充を行いました。あわせて、ヤマハ株式会社と共同開発したオーディオシステムを全車に標準装備するなど、商品力を一段と高めています。

なお、『アウトランダーPHEV』は令和7年度補正予算「クリーンエネルギー自動車導入促進補助金」の対象となり、840,000円の補助金を受けられます。

『アウトランダーPHEV』車種サイト

[https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/outlander\\_phev/index.html](https://www.mitsubishi-motors.co.jp/lineup/outlander_phev/index.html)

### 三菱自動車について

三菱自動車は、ラリー活動で培った四輪制御技術と、長年にわたり蓄積してきた電動車開発の知見を有する自動車メーカーです。ルノー・日産アライアンスの一員として、日本およびアセアン諸国に生産拠点をもち、グローバルで約28,000名の従業員が働いています。プラグインハイブリッドEVの『アウトランダーPHEV』、ピックアップトラック『トライトン』、軽自動車『デリカミニ』など、あらゆる路面状況や使用環境に対応可能な商品ラインアップを通じて、お客様の冒険心を喚起し、心豊かなモビリティライフを提供することを目指しています。三菱自動車は、鍛え上げた四輪制御技術や電動化技術を活かした「三菱自動車らしい」個性的な商品を創出すべく、技術をさらに磨き上げ、真摯にクルマづくりに向き合い、引き続きお客様にワクワクするようなモビリティライフをお届けしてまいります。詳細については、当社ホームページをご覧ください。

<https://www.mitsubishi-motors.com/jp/company/information/index.html>

以上